



その行動はいずれ自分に返ってくる

なんとなく、ジェネリックにたくない

ジェネリック医薬品には新薬開発コストが含まれていないため、先発医薬品に比べると安価です。それでいて先発医薬品と同じ有効成分を同じ量含んでいるため、効果は基本的に変りません。
 「ジェネリックにしない」という選択は、本来不要なコストをあえてかけている行動ともいえます。その行動は、さらに将来の自分に負担増となって返ってくる可能性もあります。理由もなく「なんとなく」、であれば切り替えをご検討ください。

将来の負担増 1

積み重なると大きな差額に…

ジェネリックが安価とはいっても、患者負担は3割（年齢・所得によって2割）のため、1カ月の差額はそれほど大きなものではありません。しかし、生活習慣病など長期間のみ続けることが必要な薬の場合は、積み重なると大きな差額になります。

今すぐの差額だけでなく、将来の差額まで考えてから検討するようにしましょう。

差額のイメージ

1カ月

先発薬 2,500円
 ジェネリック 2,000円
 ↓ 差額 500円



積み重なると大きな差額に!

1年後(12カ月)

先発薬 30,000円
 ジェネリック 24,000円
 ↓ 差額 6,000円

将来の負担増 2

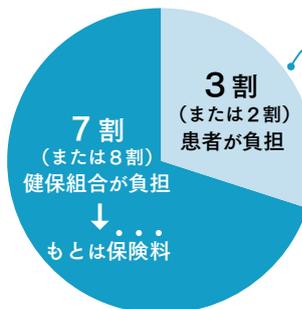
健保組合の支出にも影響します

患者の負担割合は3割ですが、残りの7割は健保組合が負担しています。健保組合が負担するといっても、もとは被保険者と事業主に納めていただく保険料です。

ただでさえ高齢化や新しい医薬品の登場により、薬剤費をはじめとする医療費は増加傾向にあります。その医療費を抑制するため、国を挙げてジェネリックの普及が求められているわけです。

保険料で賄えなくなった場合、保険料率を引き上げることになるかもしれません。そうなったら、みなさんの支出も増えてしまいます。

薬剤費の負担割合



多くの自治体では、子どもの医療費助成を行っています。医療費助成の対象は患者負担分のみです。医療費助成があっても、健保組合の負担は残ります。

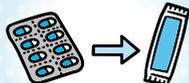


ジェネリックを選ぶことで、のみやすくなることもあります

有効成分は先発医薬品と同じですが、子どもや高齢者にものみやすくなるよう製剤上の工夫が施されたものもあります。



錠剤を小さく



錠剤をゼリー状や液状に



のみ間違いを防ぐデザイン



味やにおいを改良

けんぽ掲示板

健保ホームページをご活用ください

当健保組合では、インターネットホームページで多様な情報をご提供しております。

URL <http://www.mskenko.or.jp/>

三井住友海上健康保険組合 でも検索できます。

各種届出・申請書

手続きに必要な申請書類をダウンロードできます。

ライフシーン検索

結婚したとき、子どもが生まれたときなど、ライフシーン別に受けられる給付や、必要な手続きについて検索することができます。



機関誌

バックナンバー

『けんぽだより』のバックナンバー (vol.14以降) を閲覧できます。

臓器提供意思表示について

(社)日本臓器移植ネットワークのHPへリンクしています。

こんなときは、どうすればよい?

手続き方法が知りたい

そんなときに
アクセス!